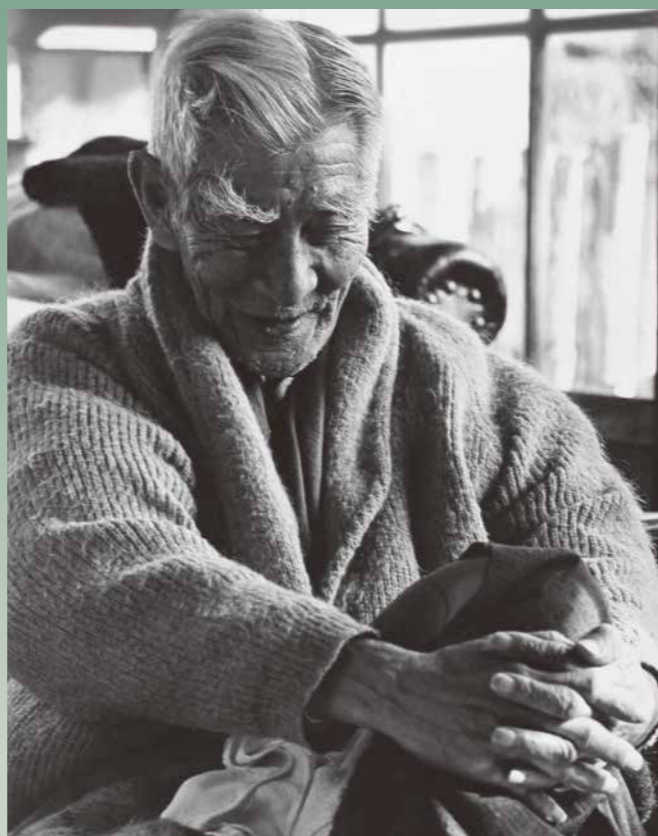


松永安左エ門の

The 50th Anniversary of
MATSUNAGA Yasuzaemon's Death
The Tea World of the Electric Tycoon

松永美の世界。



撮影：杉山吉良 提供：JCCI 一般財団法人日本カメラ財団

プロフィール Profile

まつなが やす ざ え ん
松永安左エ門(1875~1971)

長崎県壱岐の商家に生まれ、幼名は亀之助。慶應義塾へ進学し福澤諭吉に学ぶ。福岡での鉄道事業を足掛かりとして電力業界で活躍し、「電力王」と謳われる大実業家となった。1928(昭和3)年に論文「電力統制私見」を発表し、9電力体制による電気事業民営化案を提唱。電力国家統制へと向かう時勢にあって受け入れられなかったが、その23年後、戦後の電力事業再編成の主導役となって自らの手で実現させた。

還暦を機に茶の湯に親しみ、「耳庵」と号する茶人としての生活を送る。16年に及ぶ隠居生活において精力的に茶道具の名品を蒐集し、茶事を開き、茶人としての名声を高めた。戦後、電力事業民営化をはじめ日本の経済発展を支える数々の功績を残してゆく中でも、日々の生活の礎をなしたのは茶の湯であった。名品蒐集にかける情熱も終生衰えることなく、屈指の日本・東洋美術コレクションを築き上げ、1959(昭和34)年に松永記念館を設立した。

【肉声音源公開】

松永安左エ門、電力再編成と茶道を語る

松永安左エ門が出演したラジオ番組の音源を公開します。出演時は満74歳。戦後の電気事業再編成の主導役に抜擢されて間もない頃の松永が「電力再編成」と「茶道」について力強く語っています。

番組名：「朝の訪問 松永安左エ門」(15分)
NHKラジオ第1放送・1950(昭和25)年4月7日放送
※音源提供：NHK/NHKサービスセンター

会場：2階・特別展示室内(本展会場に隣接)
公開期間：本展会期に同じ。

- ・入室は無料です(入れ替え制ではありません)。
- ・音源をリピート再生しています。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大状況及び混雑状況によっては入室の制限や、公開を停止する場合があります。

【関連イベント】 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況によって、定員等変更になることがあります。

◆記念講演会

「電力王が鬼となるまで 松永安左エ門の功績」

講師：定村隆久氏(電力の鬼・松永安左エ門記念館)
日時：2021年10月23日(土) 14:00~15:30 会場：1階 ミュージウムホール
定員180名、聴講無料・先着順 ※13:00より入場整理券配布 / 13:30開場

◆つきなみ講座 特別編

「電力王は数寄者となった 松永安左エ門の茶」

講師：後藤恒(福岡市美術館主任学芸主事)
日時：2021年10月30日(土) 14:00~15:30 会場：1階 ミュージウムホール
定員180名、聴講無料・先着順 ※13:00より入場整理券配布 / 13:30開場

主催：福岡市美術館、読売新聞社、西日本新聞社
後援：福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、
壱岐市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
九州電力、西部ガス、西日本鉄道

観覧料	一般	高大生	小中生
当日	1,300円	800円	無料
団体	(1,200円)	(700円)	

※()内は20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料



交通案内
地下鉄
【空港線】大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分
【七隈線】六本松駅下車、徒歩10分
西鉄バス
【系統番号13・140】で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分
【系統番号6・7・12・113・114・200~206・208】で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分



〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL: 092-714-6051 FAX: 092-714-6071
https://www.fukuoka-art-museum.jp/

ご来館の皆様へ
○福岡市美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。
皆様のご来館を心よりお待ちしております。
○来館者多数の場合は、一時的に入場者数を制限することがあります。

2021年

10/9^[土] ⇒ 11/21^[日]

開館時間：午前9時30分~午後5時30分
※10月の金・土曜日は午後8時まで開館
※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日
会場：福岡市美術館 特別展示室

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

戦前から戦後にかけての政財界で活躍した**実業家**で、「**耳庵**」と号する**茶人**でもあった松永安左門(1875~1971)。福岡での鉄道事業を足掛かりとして電力業界で躍進し、いつしか「**電力王**」と謳われる実業家となりますが、第一線を退くと、**茶の湯の世界に**足を踏み入れます。そして精力的に**茶道具の名品を蒐集**し、戦中にあつても茶の湯三昧の日々を送りました。

戦後、政府より電気事業再編成の主導役に抜擢されると、自身が戦前より構想していたり電力体制による**電気事業民営化の実現**へと導き、結果、戦後の高度経済成長を支える大きな功績を残しました。多くの反対勢力に敢然と立ち向かい豪腕を振るうその姿を、人はいつしか「**電力の鬼**」と呼びました。そうした激務の中でも茶の湯を続け、名品蒐集の対象は茶道具以外にも及び、**屈指の日本・東洋美術コレクション**(松永コレクション)を築き上げました。主に戦前の蒐集品は東京国立博物館、戦後の蒐集品は福岡市美術館に寄贈されています。

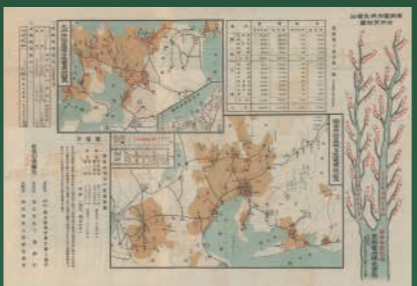
今年は、松永の**没後50年**にあたります。それを記念して、松永コレクションの**代表的作品約120件**(重要文化財**16件**、重要美術品**3件**)を一堂に集めた展覧会を開催いたします。電力事業における業績を辿りつつ、その裏舞台で展開された茶人としての松永の**美の世界を、様々なエピソードとともに**展観いたします。

プロローグ

福岡から「電力王」へ



松永先生肖像
中村研一(1895~1967)
1936年 電力の鬼 松永安左門記念館蔵



東邦電力株式会社
社債売出案内
1923年8月
益田啓一郎コレクション蔵

第2章

「電力の鬼」の茶―老櫟荘時代



志野筒茶碗 銘「露香」
桃山時代 16~17世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一

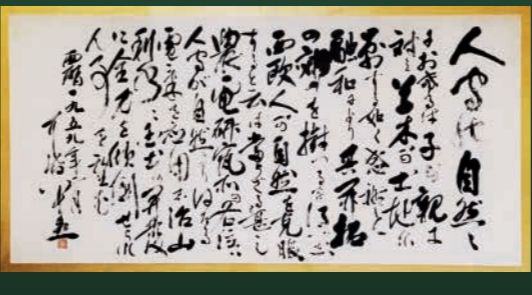


伊賀種壺花入
桃山時代 16~17世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



流水梅柳文詩絵螺鈿鏡箱
鎌倉時代 13世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一

電力中央研究所員への訓示
松永安左門(1875~1971)
1959年
電力中央研究所蔵

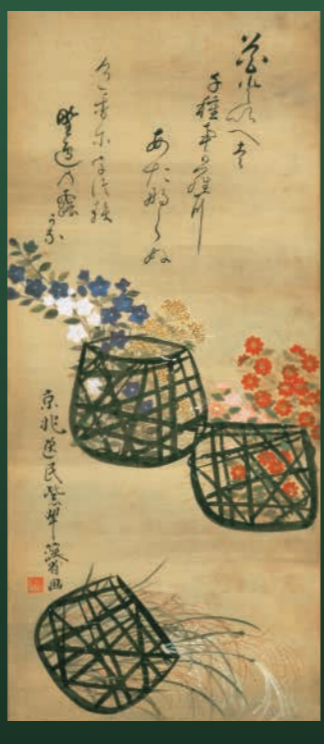


第3章

愛蔵品を語る



重要文化財
花籠図
尾形乾山(1663~1743)
江戸時代 18世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



柿帯茶碗 銘「白雨」
朝鮮王朝時代 15~16世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



重要美術品
布袋見聞鶏図
宮本武蔵(1584~1645)
江戸時代 17世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一

第1章

茶の湯三昧―柳瀬山荘時代



竹茶杓 共筒
蒲生氏郷(1596~95) 桃山時代 16世紀 東京国立博物館蔵
TAMI Image Archives



備前矢筈口水指 共蓋
桃山時代 16~17世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



唐物文琳茶入 銘「宇治」
南宋、元時代 13世紀
東京国立博物館蔵
TAMI Image Archives



芦屋松岡真形釜
室町時代 15世紀
東京国立博物館蔵
撮影 藤本健八

第4章

松永記念館の華



重要文化財
色絵吉野山園茶壺
野々村仁清(生没年不詳)
江戸時代 17世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



重要文化財
菩薩半跏思惟像
飛鳥時代 7~8世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



重要文化財
猿投灰種壺
平安時代 9世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一



竊曲文簋
西周時代 紀元前9~前8世紀
福岡市美術館蔵
撮影 山崎信一